

# 失語症 あきらめないで

脳梗塞などによる脳の損傷で、聞く、話す、読む、書くなど、言葉に障害が出る「失語症」。リハビリに励む本人の苦勞は大きいですが、コミュニケーションがうまくとれないことで、家族ら身近な人が抱える苦悩も少なくない。失語症とどうつきあうのか。患者夫婦、そして患者家族を支える小さな活動を始めた言語聴覚士の活動を取材した。

## 単身赴任の中国で脳梗塞に

突然、倒れたのは10年前だ。1999年6月27日。岩沢喜昭さん(63)は札幌市中央区に、単身赴任中の中国・黒龍江省ハルビン市の自宅で、脳梗塞に襲われた。

札幌の岩沢さん

## 10年間 夫婦二人三脚

## リハビリ「まだよくなる」

土曜日だった。身体がまったく動かない。言葉が出なかった。助けを呼べず、時間だけが過ぎた。職場に

現れないと同僚が気づいたのは週明けの月曜。丸2日過ぎていた。「倒れて6時間以内に治

「リハビリしかない」。医師に告げられた。右半身のまひ、失語症…。書ただけで1カ月かかった

「名前を書いてもらって、『いわさわ』と仮名で入院当初、岩沢さんは自ら

「お風呂沸かしておいたよ」

「動かしてはだめ」。現地の病院で言われ2週間、帰国できなかった。ようやく札幌医大に入院したが、もう手術はできなかった。

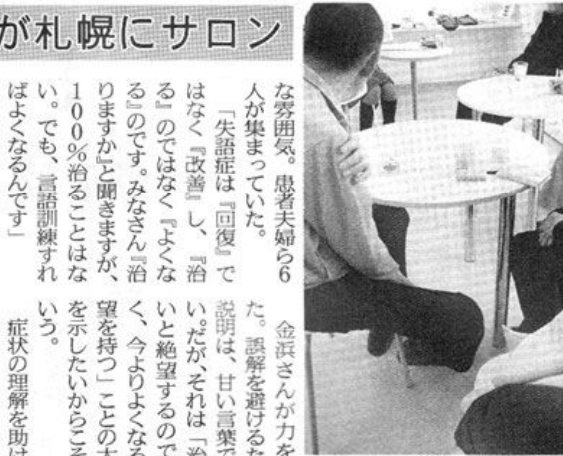
「コ、コッ」。岩沢さんが言う。都子さんは最初、何のことか分からなかった。でも、ある瞬間、気づいた。「水が飲みたいの？」

「お風呂沸かしておいたよ」

「名前を書いてもらって、『いわさわ』と仮名で入院当初、岩沢さんは自ら

「お風呂沸かしておいたよ」

「お風呂沸かしておいたよ」



## 言語聴覚士が札幌にサロン

な雰囲気。患者夫婦ら6人が集まっていた。「失語症は『回復』で説明は、甘い言葉ではない。『改善』し、『治』いだがそれは『治らな』るのではなく『よくな』いと絶望するのはな

金浜さんが力を込めた。誤解を避けるための「失語症は『回復』で説明は、甘い言葉ではない。『改善』し、『治』いだがそれは『治らな』るのではなく『よくな』いと絶望するのはな

## 金浜さん 個人、グループでレッスン

「E-time」は個人レッスン40分(3千円)、60分(4500円)、グループ1回1500円、家族相談1時間(2千円)などでリハビリや相談を受け付けている。

「E-time」は個人レッスン40分(3千円)、60分(4500円)、グループ1回1500円、家族相談1時間(2千円)などでリハビリや相談を受け付けている。

2009年も残すところ2週間。読者のみなさんから今年の「喜」「怒」「哀」「楽」を募集し、「言わせて!」のコーナーで紹介する。

道新プレイカ  
お知  
DOSHIN GUIDE  
も詳しく

「E-time」。今年3月、言語聴覚士金浜悦子さんが札幌市中央区に開設した失語症サロンだ。

「E-time」は個人、グループでレッスンを個人やグループで受け付けるほか、「最も兼力」だった。開放的

「E-time」は個人レッスン40分(3千円)、60分(4500円)、グループ1回1500円、家族相談1時間(2千円)などでリハビリや相談を受け付けている。

2009年も残すところ2週間。読者のみなさんから今年の「喜」「怒」「哀」「楽」を募集し、「言わせて!」のコーナーで紹介する。